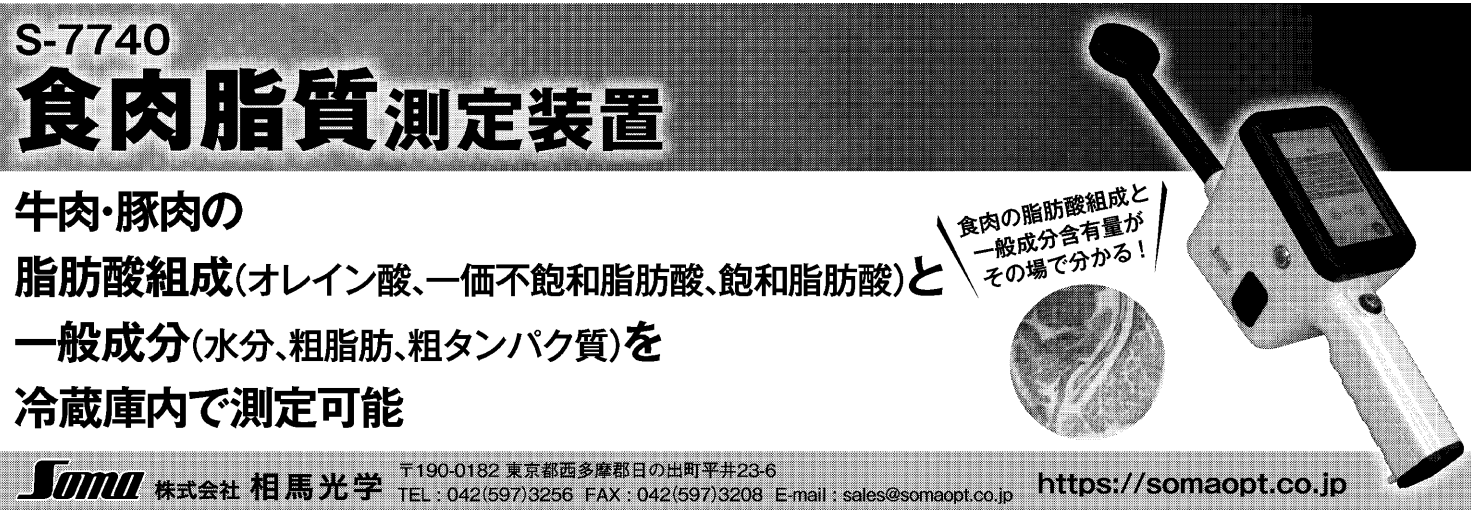


POTA
portable absorbance
ポータブル吸光度計
コンパクトでもハイスパック
特許 第7425428号
高性能空間フィルターが直進光だけをRGBセンサーへ届けます



MICRONIX マイクロニクス株式会社 〒192-0045 東京都八王子市大和田町 2-21-2 TEL: 042-649-3889 https://pota-abs.com/

S-7740
食肉脂質測定装置
牛肉・豚肉の
脂肪酸組成(オレイン酸、一価不飽和脂肪酸、飽和脂肪酸)と
一般成分(水分、粗脂肪、粗タンパク質)を
冷蔵庫内で測定可能



Soma 株式会社 相馬光学 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井23-6 TEL: 042(597)3256 FAX: 042(597)3208 E-mail: sales@somaopt.co.jp https://somaopt.co.jp

世界に誇る分析・測定・検査機器・校正サービス／サポート
in 東京都多摩地域
トップが語る 技術・製品・戦略

東京都多摩地域は分析機器、電気測定器、検査機器、校正サービス／サポートの企業が集まっている。自社技術や製品開発能力を磨き、顧客の高品質、信頼性、安全性を支えている。企業間の垣根を越えた取り組み、顧客の生産性向上につながる新しいサービスの提案、グローバル展開、新規市場を見据えた製品提案などを行い、世界に誇る企業としての地位を確立。そこには企業の自負があり、これらの分野の有力企業に事業展開や今後の経営戦略などについて聞いた。

[順不同] 企画・制作：日刊工業新聞社 多摩支局

マイクロニクス

主力拠点を移転・拡大 生産体制を強化

マイクロニクスは、マイクロ波技術に強みを持つ電子計測器メーカー。製品は公的機関に導入されるなど、顧客からの信頼は厚い。無線通信・自動車業界で、さらなる市場拡大を目指す。25年度の中期を振り返って。

「過去最高の業績となった24年9月期の反動はあったが、今後成長するための売上高・利益は確保できた。新製品は25年5月に小型アンテナケーブルを投入した。電波受信検査において繰り返しの検査の再現性」

「過去最高の業績となった24年9月期の反動はあったが、今後成長するための売上高・利益は確保できた。新製品は25年5月に小型アンテナケーブルを投入した。電波受信検査において繰り返しの検査の再現性」

「過去最高の業績となった24年9月期の反動はあったが、今後成長するための売上高・利益は確保できた。新製品は25年5月に小型アンテナケーブルを投入した。電波受信検査において繰り返しの検査の再現性」

近藤 弘 社長

共和電業

クラウドサービス 付加価値高める

共和電業は、自動車向け電子部品メーカー。クラウドサービスを活用し、顧客の生産性向上を支援する。25年度の中期を振り返って。

「クラウドサービスは、AIを活用するなどの付加価値の高い計測手法の開発を進めている。同サービスは、後継の新事業の柱とするため、クラウドや画像処理、MES(微小電気機械システム)といった技術力を入れる」

「クラウドサービスは、AIを活用するなどの付加価値の高い計測手法の開発を進めている。同サービスは、後継の新事業の柱とするため、クラウドや画像処理、MES(微小電気機械システム)といった技術力を入れる」

下住 晃平 社長

リガク

「LabからFabへ」X線技術を深化

リガクは、X線分析装置メーカー。X線技術を活用し、半導体製造工程での検査・測定を支援する。25年度の中期を振り返って。

「X線技術を活用し、半導体製造工程での検査・測定を支援する。25年度の中期を振り返って」

「X線技術を活用し、半導体製造工程での検査・測定を支援する。25年度の中期を振り返って」

川上 潤 社長

日本電子

半導体・ライフサイエンス 価値を創出

日本電子は、電子顕微鏡メーカー。半導体・ライフサイエンス分野で、価値を創出する。25年度の中期を振り返って。

「半導体・ライフサイエンス分野で、価値を創出する。25年度の中期を振り返って」

「半導体・ライフサイエンス分野で、価値を創出する。25年度の中期を振り返って」

大井 泉 社長

Rigaku
POWERING NEW PERSPECTIVES

見るチカラで、世界を変える

rigaku.com



極微の世界に未来が映る

世界の科学技術を支えて 75年

1949年に電子顕微鏡の開発会社としてスタートした日本電子は、今日、理科学機器、分析機器の世界的メーカーとして高い評価をいただいております。

その製品は世界130カ国以上の大学や研究所で使用され、ノーベル賞受賞者をはじめとしたトップサイエンティストや各種産業を支えています。

ナノテクノロジーを意味する「極微の世界」をコアテクノロジーに、持続可能な社会の実現に科学技術で貢献します。

電子顕微鏡
光のかわりに電子を用いて、物質を観察する装置です。数万倍から数千倍の高倍率で、肉眼では見えないウイルスや、原子一つ一つの並びを識別することだって可能です。想像もできない極微の世界を追求できる人類の発明した画期的な装置として世界中で活躍しています。

核磁気共鳴装置
MRIの10倍以上の高磁場で核磁気共鳴現象により、原子レベルで物質の化学構造を分析します。一回の測定で多くの構造情報を得られるため、化学、製薬、バイオや電子材料、全固体電池の開発など、最先端の科学技術分野に欠かせない分析装置です。

この他、JEOLは、半導体描画装置や生化学分析装置、金属3Dプリンターなど、高い技術力をコアに、幅広い分野に貢献しています。

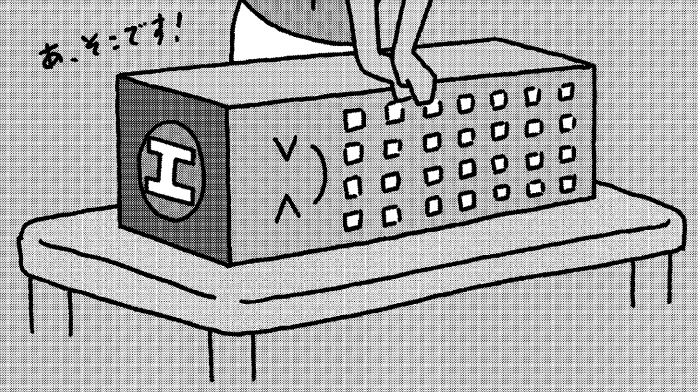
世界の科学技術を支える
ニッチ・トップ企業を目指して

JEOL 日本電子株式会社

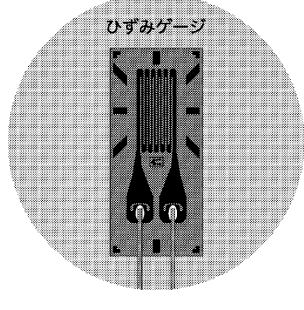


確かな計測で、その先の未来へ
KYOWA

お客さま、
 ちょっとひずんで
 いますね。



外からでは
 わからないビル・
 構造物のひずみを
 「ひずみゲージ」が
 しっかり検出

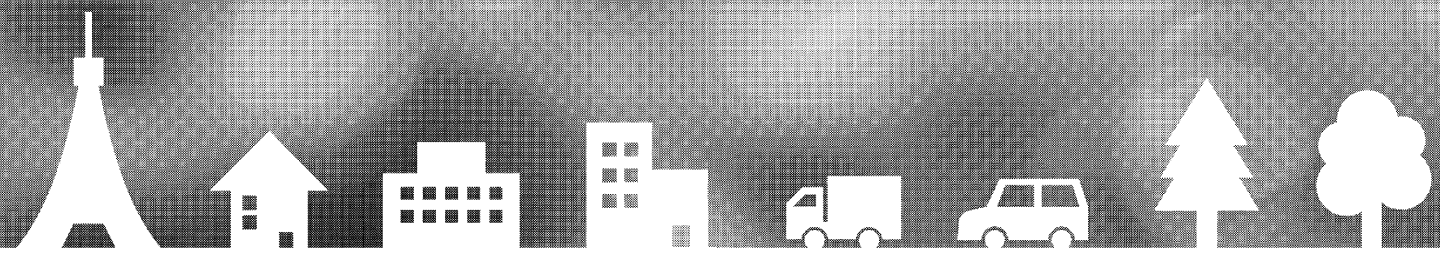


ビルや高速道路、橋、ダムといった構造物・インフラから自動車や家電などの工業製品にいたるまで、私たちを取り巻く社会と暮らしの安全を、共和電業の計測技術が支えています。その主役は「ひずみゲージ」。外力等によって物体に生じる微小な変形を、この僅か数ミリのセンサが電気信号に置き換えて計測。構造物やモノの強度・劣化具合等を把握することで、安全性確保につなげています。私たちはこのひずみゲージのハイオニア。各種センサから計測器、試験機器・システム開発まで、共和電業は「はかる技術」で社会と暮らしの安全を支え、安心できる未来づくりに貢献しています。

株式会社 共和電業 〒182-8520 東京都調布市調布ヶ丘3-5-1
 TEL.042-488-1111 (大代表) FAX.042-481-3258 <https://www.kyowa-ei.com/>

JQA 見えない価値を
 見える証に

確かな計測を、もっと身近に。



より広く、より深く、より円滑に
 計測器の校正はJQAにお任せください

JCSS このシンボルは、国際MRA対応JCSS認定事業者であることを示すものです。JQA計量計測センター (JCSS 0029)、中部試験センター (JCSS 0064)、関西試験センター (JCSS 0071) および九州試験所 (JCSS 0104) は、国際MRA 対応JCSS認定事業者です。

ILAC-MRA このシンボルは、米国試験所認定協会 (A2LA) から認定された校正機関であることを示すものです。JQA計量計測センター (1400.01)、中部試験センター (1400.04)、関西試験センター (1400.03) および九州試験所 (1400.05) は、ISO/IEC 17025に基づきA2LAから認定された校正機関です。

一般財団法人日本品質保証機構 計量計測センター
 〒192-0364 東京都八王子市南大沢4-4-4 (JQA多摩テクノパーク) TEL:042-679-0144 <https://www.jqa.jp>

相馬光学

顧客と対話 ニーズを明確化

2026年に創業50周年を迎える相馬光学は、光分析装置メーカー。分光技術を中心に、世界の「マサチューセッツ」を作り出し、光分析のベストパートナーとして、顧客のニーズにマッチしたモノづくりを推進している。

「25年度は、肉脂測定装置はハンディタイプの出荷数が75台から130台に伸びた。全国和牛登録協会や日本食肉格付協会が採用しており、旧型装置からの入れ替えが



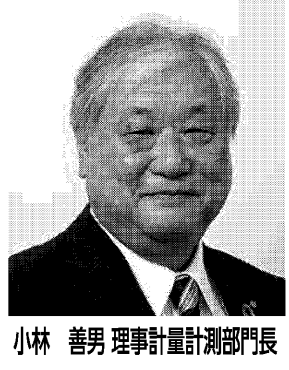
浦 明子 社長

日本品質保証機構

時代を見据えて研究開発を強化
 総合的な計測サービスを提供

日本品質保証機構 (JQA) は、ISO/IEC 17025に基づき、製品評価技術基盤機構 (NITE) と米国試験所認定協会 (A2LA) から認定された校正機関。国内最大級の校正品目と認定範囲に加え、近年は研究開発部門を強化し、技術革新をキャッチアップ。新たなサービスを提供し続けている。

「25年度の取り組みは、EV (電気自動車) の流れを捉え、より大きな直流電流領域での校正サービスを開始した。従



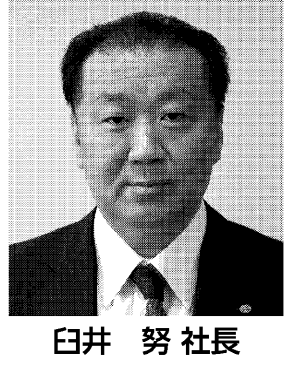
小林 善男 理事計量計測部門長

京西テクノス

技術力追求 高付加価値サービス提供

京西テクノスは計測器など産業用電子機器の修理・校正サービスを展開。医療・計測・情報通信分野を軸に「トータルマルチベンダーサービス」を進める。

「前期 (25年9月期) と今期前半は、前期はグループ全体で売上高200億円、利益12億円を達成。売上高・利益とも、過去最高を更新した。すべての事業が堅調に推移し、システムインテグレーション (SI) 関連においては継続して好調だった。今期売上高は現状の水



白井 努 社長

横河計測

ソリューション対応に強み

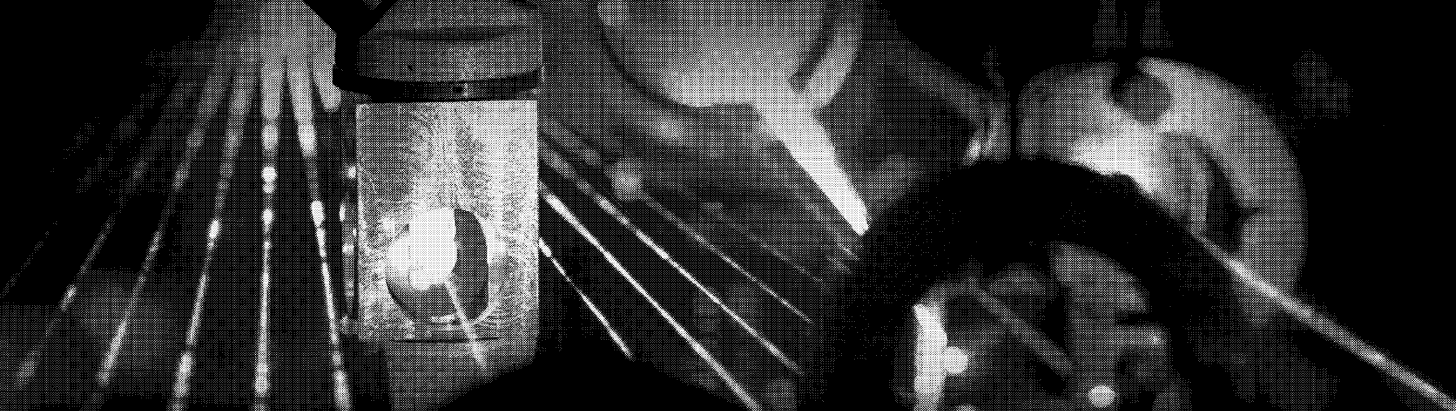
横河計測はYOKOGAWAグループの測定器事業を担う中核会社として、顧客の技術革新を支える事業を展開している。

「25年度は、重点としている脱炭素、通信、ウェルビーイングの3分野でソリューションを展開した。特徴としてはAI (人工知能) 向けデータセンター (DC) 関連のビジネスが好調に推移した。中でも高速光トランシーバーの測定用として、光スペクトラムアナライザの取組が、長年培った



小島 学 常務執行役員

Test&Measurement YOKOGAWA



測る力とつなぐ力で、地球の未来に責任を果たす。

横河計測は世界で最も信頼されている高速で高性能な光スペクトラムアナライザを提供します。可視から中赤外 (350 nm~5500 nm) までの波長帯域をカバーする8種類の製品ラインアップを取り揃え、幅広いアプリケーションにお応えします。

比類なき光学性能
高い波長分解能 5 pm

次世代光ネットワークの研究開発に対応する最高性能モデル

生産タクトタイム短縮
従来機比で最大 20 倍

光通信デバイス生産向け高性能モデル

AQ6380 1200~1650nm

New Model AQ6361 1200~1700nm

Precision Making 横河計測株式会社 ☎0120-137-046 www.yokogawa.com/jp-ymi/

トータルマルチベンダーサービス



京西グループは「医療」「通信」「計測」「環境・エネルギー」分野を中心としたメーカー各社のあらゆる機器やシステムのトラブルの受付からシューティングまでをワンストップで対応する「トータルマルチベンダーサービス」を展開しています。

KYOSAI 京西テクノス株式会社
 〒206-0041 東京都多摩市愛宕4-25-2
 TEL.042-303-0888 (代表) www.kyosaitec.co.jp